

お知らせ



岡山県立博物館

担当者

平田・内池

電話番号

内線：5015
直通：086-272-1178

岡山県立博物館 令和6年度特別展

「緒方洪庵 —その生涯と郷土岡山—」を開催します

岡山県立博物館では、令和6年10月18日（金）より、令和6年度特別展「緒方洪庵 —その生涯と郷土岡山—」を開催します。

緒方洪庵（1810～1863）は、備中足守（現在の岡山市北区足守）に生まれ、翻訳によって最新の西洋医学を伝えるとともに、多くの人を苦しめた病・天然痘を予防するワクチンを普及させた人物であります。

また、蘭学塾「適塾」を開き、福沢諭吉ら幕末から明治にかけて活躍する人々を育てたことでも知られています。

本展覧会では、自筆の日記や手紙から、緒方洪庵の生涯と業績を紹介するとともに、郷土岡山とのつながりにも迫ります。

ぜひ取材にお越しくください。

記

- 1 会 期 令和6年10月18日（金）～11月24日（日）
- 2 開館時間 午前9時30分～午後5時（開会初日のみ午前10時開館）
- 3 休 館 日 10月21日、28日、11月5日、11日、18日
- 4 入 館 料 大人450円、65歳以上220円、高校生以下無料
※11月1日(金)はおかやま教育の日のため、入館料無料
- 5 主な展示品 別添資料のとおり
- 6 関連行事 【記念講演会①】「緒方洪庵が伝えたもの—その活動と精神—」
日時：10月27日（日）午後1時30分～3時
講師：村田 路人 氏（神戸女子大学教授・大阪大学名誉教授）
会場：岡山県立博物館 講堂
定員：120人（先着順、事前申込必要、聴講無料）

ウラへ続く →

【記念講演会②】「なぜ私が緒方洪庵を書こうと思ったのか

－洪庵の業績とその魅力－

日時：11月17日（日）午後1時30分～3時

講師：海堂 尊 氏（作家・医師）

会場：岡山県立博物館 講堂

定員：120人（先着順、事前申込必要、聴講無料）

【学芸員による展示解説】

日 時：10月19日（土）、11月2日（土）、11月23日（土・祝）

各日とも午後2時～3時

会 場：岡山県立博物館 2階展示室（事前申込不要）

〔関連行事の申込方法〕

必要事項（イベント名・氏名（よみがな）・住所・電話番号）を記入し、メールまたはFAXで「特別展イベント担当係」まで申し込む。

メールアドレス：kenhaku@pref.okayama.lg.jp

FAX : 086-272-1150

※最新情報は、当館HPでご確認ください。

7 その他

開会式を10月18日（金）午前9時30分より2階ホールで開催します。特別展の詳細については、別添特別展チラシ及び岡山県立博物館HPをご覧ください。

特別展「緒方洪庵—その生涯と郷土岡山—」主な展示品

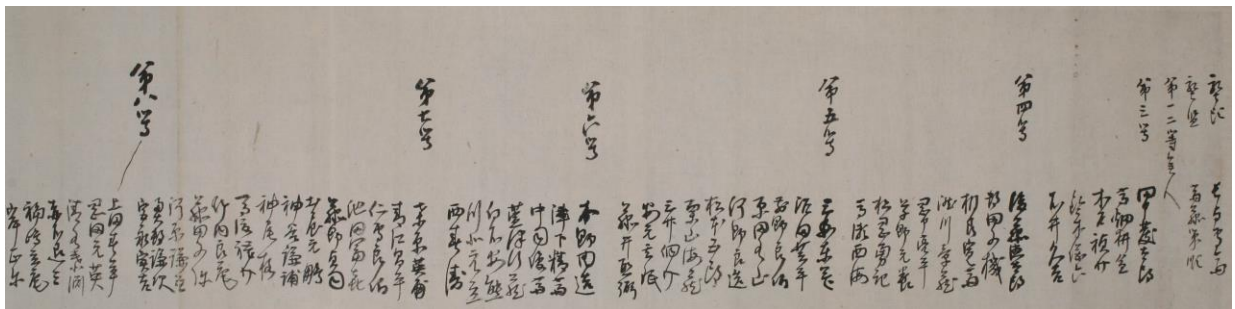
1. 当時流行町請医師見立 天保11年(1840) 大阪市指定文化財 大阪市史編集所



【解説】

相撲の番付に見立てて、大坂の医師を列記したものです。洪庵は開業してわずか2年で東前頭4枚目に登場するほどの名医でした。

2. 適塾塾生等級別名簿 安政6年(1859) 大阪大学適塾記念センター



【解説】

初心者向け学習を終えた適塾の塾生は、能力別に少人数グループでオランダ語の原書を読みました。本資料は、安政6年(1859)9月の席次で、岡山出身の塾生(石井久吉、津下精齋など)の名前も見えます。

3. ツーフ・ハルマ 江戸時代 大阪大学適塾記念センター



【解説】

塾生たちがオランダ語の原書を翻訳するために使用した辞書です。適塾にはツーフ・ハルマが一冊しかなく、塾生たちは奪い合っていたそうです。



4. 緒方洪庵肖像 嘉永3年(1850) 大阪大学適塾記念センター

【解説】

蘭書を読む、40歳の洪庵肖像です。洪庵が武家に生まれながら医術の道に入り、漢学教育を経て蘭学を非常に努力して学び、わずか40歳で有名になったことをたたえています。

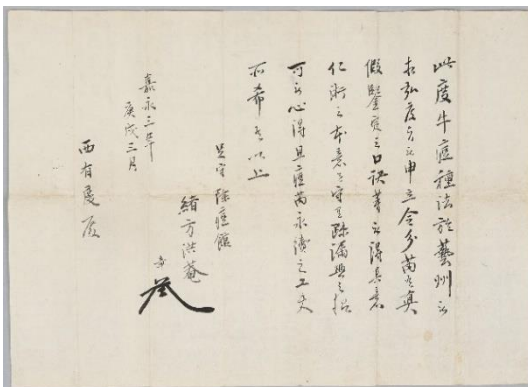
5. 除痘館記録 万延元年(1860) 大阪大学適塾記念センター



【解説】

江戸時代に恐れられた天然痘を予防する牛痘種痘(ワクチン接種)が18世紀末にイギリスで発明され、嘉永2年(1849)に痘苗(ワクチン)が、長崎を経由して京都にやってきました。洪庵はそれを入手し、大坂の除痘館を中心に、種痘事業を進めます。本資料はその経緯について記録したものです。

6. 種痘免状 嘉永3年(1850) 個人

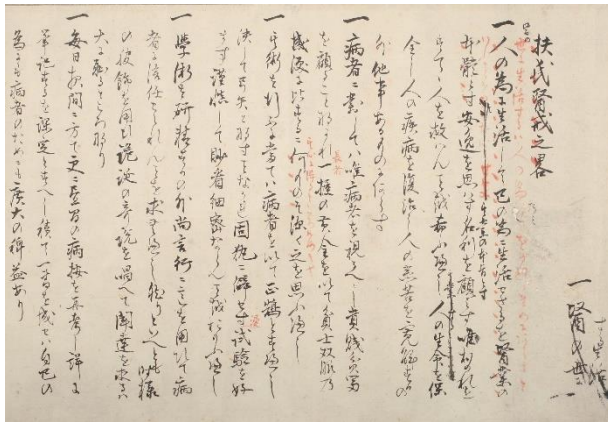


【解説】

嘉永3年(1850)3月付で洪庵から西有圭(有慶)に宛てた分苗の免状です。

西は安芸国(広島県)出身で、適塾初期の塾生です。同年正月、洪庵は足守藩主木下利恭の命により、足守で種痘活動を始めましたが、西はそれに協力しています。洪庵は、岡山で1,500人あまりに種痘をおこなったとされます。

7. 扶氏医戒之略 安政4年(1857) 大阪大学適塾記念センター



【解説】

ドイツ人医師フーフェラントが記した「医者の義務」を、洪庵が12か条にして、わかりやすく示したものです。

「病人が高貴か賤しいかとか、裕福か貧乏かとかを気にかけてはなりません。ただ病に苦しんでいる病人を見なさい。」など、洪庵が志した医者像が示されています。ぜひ、洪庵自身が記した言葉を見て味わってください。

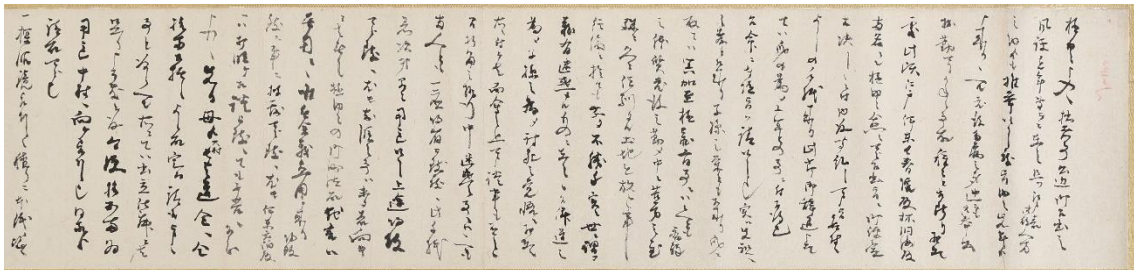
8. 緒方洪庵母きょう米寿の賀盃 文久2年(1862) 個人



【解説】

文久2年(1862)、洪庵の母佐伯きょうが米寿を迎え、その祝宴が同年4月に行われました。洪庵も足守に帰省して出席し、その際、洪庵が出席者に配った盃です。現在確認されているのは、本資料だけです。

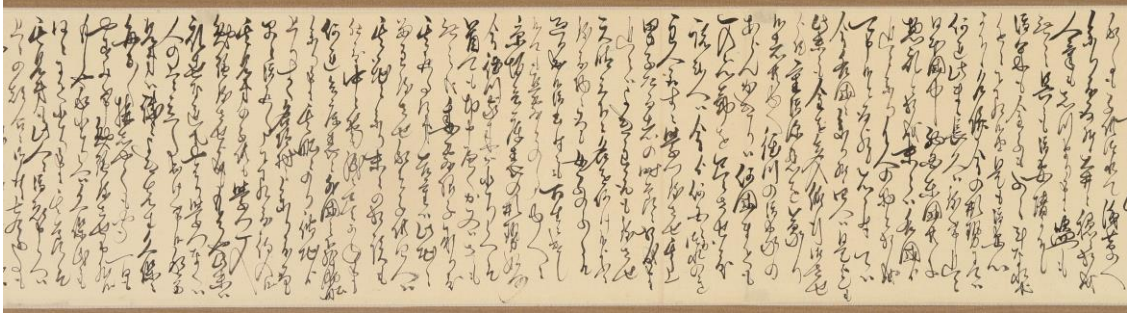
9. 緒方平三・城次郎宛緒方洪庵書状 文久2年(1862) 大阪大学適塾記念センター



【解説】

文久2年(1862)の足守への帰省以前から、洪庵を江戸に呼び寄せようと推挙する声があがっていました。本資料は、大坂へ戻った洪庵が、江戸行きの決意を息子たちに伝えた書状です。「ありがた迷惑」や「討死の覚悟」など、洪庵の心情が吐露されています。

10. 徳川志宇^{おくがわじう}および信哉・美津宛緒方八重書状 慶応4年（1868） 緒方洪庵記念財団



【解説】

文久3年（1863）、将軍の診察を行う奥医師などとして江戸にいた洪庵は、急逝しました。洪庵亡きあと、その妻八重は、遺された子どもたちを立派に育て上げました。本資料には、「学問がなければ人の上に立つことができない」という、八重の考え方が記されています。

令和6年度特別展

緒方洪庵

—その生涯と郷土岡山—



緒方洪庵肖像(部分)
大阪大学適塾記念センター

2024年
10.18 | 金 | - 11.24 | 日 |

開館時間 | 午前9時30分～午後5時(開会初日のみ午前10時開館)
休館日 | 10月21日(月)、28日(月)、11月5日(火)、11日(月)、18日(月)
入館料 | 大人450円、65歳以上220円、高校生以下無料
※11月1日(金)は無料開館(おかやま教育の日)



適塾(大阪市中央区北浜)

主催: 岡山県教育委員会、岡山県立博物館
共催: 山陽新聞社、RSK山陽放送
後援: OHK岡山放送、TSCテレビせとうち、RNC西日本放送、KSB瀬戸内海放送、oniビジョン、(公財)岡山県郷土文化財団
特別協力: 大阪大学適塾記念センター、適塾記念会、(一財)緒方洪庵記念財団、岡山中央ロータリークラブ



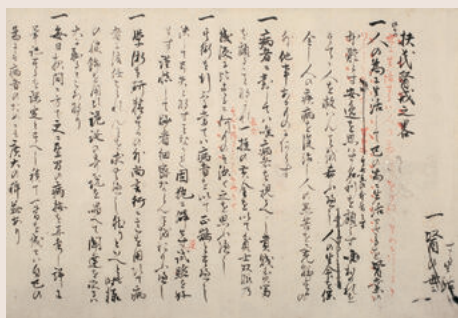
岡山県立博物館
Okayama Prefectural Museum

緒方洪庵

—その生涯と郷土岡山—



緒方洪庵(1810-1863)は、翻訳によって最新の西洋医学を伝えるとともに、多くの人を苦しめた病・天然痘を予防する「ワクチン」(牛痘種痘)を普及させた人物です。また、蘭学塾「適塾」を開いて、福沢諭吉ら幕末から明治にかけて活躍する人びとを育てたことでも知られています。本展覧会では、洪庵自筆の日記や手紙から、備中足守(現在の岡山市北区足守)に生まれた洪庵の生涯と業績を紹介します。あわせて、洪庵と郷土岡山とのつながりにも迫ります。



扶氏医戒之略(部分) 大阪大学適塾記念センター
洪庵が大切にしていた医師としての心得



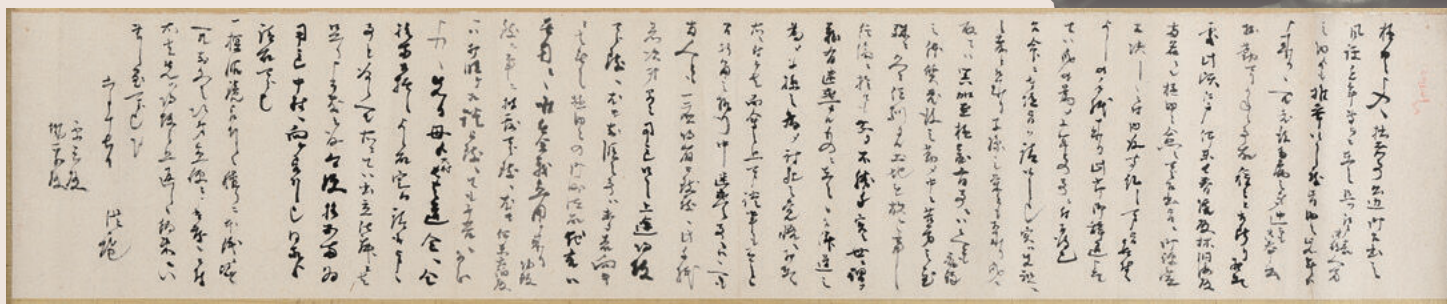
緒方洪庵母きょう米寿の賀盃 個人
足守で母きょうの米寿を祝う 洪庵最後の帰郷となる



除痘館記録(部分) 大阪大学適塾記念センター
天然痘(感染症)から人びとを救おうとした洪庵たちの記録

緒方洪庵書「培養失宜蘭亦無香」 大阪大学適塾記念センター
「章」は洪庵のこと 修学した塾生らが各地へ帰郷する際、洪庵は書幅を贈ったとされる

培
養
失
宜
蘭
亦
無
香



緒方平三・城次郎宛緒方洪庵書状 大阪大学適塾記念センター 晩年、討死の覚悟で江戸へ

関連行事

1. 記念講演会

「緒方洪庵が伝えたもの
—その活動と精神—」

日時 10月27日(日)
午後1時30分~3時
講師 村田路人氏
(神戸女子大学教授・大阪大学名誉教授)
会場 岡山県立博物館 講堂
定員 120人
(事前申込必要、先着順、聴講無料、入館料は別途必要)



2. 記念講演会

「なぜ私が緒方洪庵を
書こうと思ったのか
—洪庵の業績とその魅力—」

日時 11月17日(日)
午後1時30分~3時
講師 海堂尊氏(作家・医師)
場所 岡山県立博物館 講堂
定員 120人
(事前申込必要、先着順、聴講無料、入館料は別途必要)



3. 学芸員による展示解説

日時 10月19日(土)、11月2日(土)、
11月23日(土・祝)
午後2時~3時
会場 岡山県立博物館 2階展示室
その他 事前申込不要

【イベント申込方法(1・2)】

メールまたはFAXで「特別展イベント担当係」まで、必要事項(イベント名・氏名・よみがな・住所・電話番号)をご記入の上、お申し込みください。
E-mail: kenhaku@pref.okayama.lg.jp
FAX: 086-272-1150
※最新情報は当館ホームページ等でご確認ください。



■交通の御案内 JR岡山駅 後楽園口(東口)から
●徒歩(約25分)
●路面電車(約5分)【東山行】「城下」下車 徒歩(約10分)
●バス(JR岡山駅バスターミナル1番のりば)
岡電バス【藤原団地行】(約20分)「後楽園前」下車すぐ
●お車でお越しの場合 山陽道岡山インターより約15分(後楽園駐車場をご利用ください。40分につき100円)



岡山県立博物館
Okayama Prefectural Museum

〒703-8257 岡山市北区後楽園1番5号
TEL.086-272-1149(代表) FAX.086-272-1150
<https://www.pref.okayama.jp/site/kenhaku/>

